

女性ならではの視点で、県政をレポートします。

自分の足と目と、旺盛な好奇心でお伝えします。

平成六年度の「くまもと女性特派員」の依頼状交付式、及び新旧交替式が四月十一日、県庁知事応接室で行われました。

昭和五十七年度に始まったこの制度は、昨年度から応募資格を、主婦から二十歳以上の女性に広げ、名称も「ママさん特派員」から、女性特派員に変わりました。今年度は平均年齢三十三歳、子育て真っ最中の人もいれば、お勤めの人も、といった具合にバラエティに富んだ構成です。

「二十一世紀へ向けて、県総合計画を作りましたが、それを基に今、いろいろな事業が動いています。女性の視点で県政を見て、ご提言もどしどししていただきたい」との知事の言葉に皆さん、緊張の面持ちです。皆さんには、これからの一年間、県の事業やイベントに参加していただき、本誌「風探県記」にレポートしていただくほか、県政テレビ・ラジオ番組への出演などで活躍していただきます。



知事を囲んで、新旧特派員の懇親会から



くまもと女性特派員に依頼状交付

小柳 理枝さん
熊本市



昨年秋、東京から8年ぶりに帰って来ました。立派な道路が走り、ステキな建物ができているのにびっくりしました。熊本は緑を生かした街づくりがステキですね。行政ってどんなものだろう？ ゴミ問題や環境問題にとっても興味があります。好奇心を発揮して頑張ります！

宮尾 裕子さん
玉名郡横島町



下の娘が幼稚園に通い始め、子育てが一段落しましたので、これからは社会勉強をしようと応募しました。子育て支援ネットワークや地下水対策などに関心があります。子どもたちが就職する頃、熊本はどうなっているんだろう？ 老後はどうなっているんだろう？ いろんなことを知りたいですね。

松下 玲子さん
阿蘇郡一の宮町



何かにチャレンジしたり、いろんな人との出会いで自分を高められたらと思います。生涯学習やくまもと国体のことに興味があります。私もリサイクル活動をしています。かえってエネルギーが掛かったりして、ゴミ問題は難しいですね。自分の足で、目で確かめたことを、皆さんに伝えたいと思います。

淵上 美代子さん
菊池郡西合志町



昨年、県政モニターをして、県政を身近に感じたのは良かったのですが、同時に知らないことがあまりに多すぎると実感。それが応募動機です。コースと健康体操のサークルに参加しています。「生涯を通した健康づくり」が私の永遠のテーマなんです。私のキーワード「好奇心、行動、発見」で1年間頑張ります。

立迫 なぎざさん
芦北郡芦北町



町の社会教育指導員をしています。1年間の経験が仕事に生かせたらと思っています。くまもと国体で芦北町は新体操の会場になるんですが、私も新体操のジュニアを育てているので、そちらの方も楽しみです。また、子どもはいませんが、仕事も家事もテキパク女性をめざしたので、「長時間保育」なども興味がありますね。

永江 明美さん
人吉市



東京から人吉に嫁いで来ました。緑の多さ、水のきれいさに感動しました。「子どものミルク水道水は使いたくないな」とか「紙オムツは燃やしているのかな?」、「子どもを連れて遊びに行ける場所は?」、「ボランティアはどうやっていいの?」というように、身近な問題から取り組みたいと思います。